

研究会報告

第15回基礎電気化学フォーラム報告

北隅 優希

2011年7月16日に京都大学桂キャンパス桂ホールにて開催された第15回基礎電気化学フォーラムについて報告する。

「電気化学系における不安定性と振動現象」が今回のテーマである。興味が偏っているのでは、との声が囁かれ、また、折り悪く祇園祭の宵山と被る日取りであったが、63名にご参加いただいた。

フォーラムでは、垣内 隆先生の挨拶に続いて、報告者を含めた3人による講演が行われた。報告者による第1講演「液液界面の電気化学的不安定性と振動現象」では、電気化学的不安定性の見地から振動現象を説明する試みについて紹介した。京都工芸繊維大学の前田耕治先生による第2講演「液膜電位振動 一発生と伝播と同期の化学—」では、ご自身の研究のきっかけにおける振動現象の紹介から始まり、液膜系における電位振動の機構について明らかになってきたことの解説がなされた。同志社大学の塩井章久先生による第3講演「イオン種に依存する油水界面と接触線の不安定性」では、イオン性界面活性剤と金属イオンの会合体形成と脱離に由来する振動のモデル化と解析が話題にされた。各講演とも、いまだ全貌の解明には至らない、という話題の提供で締めくくられ、活発かつ刺激的な質疑応答がなされた。

講演の後、より議論を深めるために桂キャンパス内の生協カフェにて懇親会が行われた。懇親会は、「本会も残すところあと1回、若い人が新たに会を立ち上げることに期待する」という垣内 隆先生の挨拶から始まった。参加者の誰もが、来年度以降どのような会を主催するか思い描いたに違いない。懇親会でもさまざまな交流が行われたが、2時間では全く足りないように感じた。この後は祇園祭の見物に向かうと言って帰路についた方も多かったが、一方で、研究室に場所を移して交流会は継続され、参加者の親睦がより深められたのではないかと思う。

本フォーラムに関する情報を垣内研究室のウェブ上に掲載している(<http://www.fm.ehcc.kyoto-u.ac.jp/>)。基礎電気化学フォーラムの最新情報および過去の情報についてはそちらをご覧ください。

(きたずみ ゆうき・京都大学)



写真 講演の質疑応答における一コマ